

選手注意事項

1. 開始式について

- (1) 第1日目の9月22日(木)に開始式を行う。優勝杯返還のみを行う。
- (2) 前年度優勝校はそれぞれ優勝杯を持参すること。

2. 競技について

- (1) 本競技会は、2016年度日本陸上競技連盟規則によって運営する。
- (2) 招集場所は第2ゲートに置く。招集完了時刻の5分前に係員により点呼があるので、競技者本人がナンバーカードの確認を受けること。他の種目に出場している場合は代理人を出すこと。
- (3) 招集完了時刻は、トラック競技は競技開始20分前、跳躍競技は40分前とする。ただし、棒高跳は2時間前とする。投てき競技は、やり投のみ40分前とし、その他は30分前とする。混成競技は両日とも第1種目は招集場所で招集を行う。2種目からは現地で、トラック競技は競技開始の20分前、フィールド競技は30分前をめどに点呼を行う。
- (4) 競技に出場しない選手・チームはプログラムにつけられている「欠場届」を招集所に提出すること。
- (5) 申し込み後の変更は、理由の如何を問わず認めない。
- (6) 胸背にナンバーカードをつけない選手の出場は認めない(跳躍競技はいずれかだけでもよい)。ただし、男子混成1500m、女子混成800m、男子5000m、女子3000mは、主催者が準備したナンバーカードをつけること。
- (7) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。ピンの数は11本以内とする。また、スパイクピンの先端近くは、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。
- (8) 計測ラインおよび制限タイムは次のように予定する。ただし、状況により変更することがある。
長距離種目については下記のタイムを越えて次の周回に入らない。

男子	走幅跳	5 m 7 0	三段跳	1 1 m 0 0				
	砲丸投	8 m 0 0	円盤投	2 0 m 0 0	やり投	3 5 m 0 0	ハンマー投	2 0 m 0 0
	5000m	1 8 分	3000mSC	1 2 分	5000mW	3 0 分		
女子	走幅跳	4 m 3 0	三段跳	9 m 0 0				
	砲丸投	7 m 0 0	円盤投	2 0 m 0 0	やり投	2 3 m 0 0	ハンマー投	なし
	3000m	1 2 分	5000mW	3 2 分				

- (9) 男子・女子走幅跳及び男子三段跳はA・Bピットで実施し、トップ8決定後はAピットで実施する。

(10) 走高跳のバーの高さは次のように予定する。

(男子) 練習 1 m 5 5 1 m 7 5

競技開始の高さ 1 m 6 0 以降 5 cm 刻み 1 m 8 5 より 3 cm 刻み

(女子) 練習 1 m 2 5 1 m 4 5

競技開始の高さ 1 m 3 0 以降 5 cm 刻み 1 m 4 5 より 3 cm 刻み

(11) 棒高跳のバーの高さは次のように予定する。

(男子) 練習 2 m 9 0 3 m 6 0 4 m 0 0

競技開始の高さ 3 m 0 0 以降 1 0 cm 刻み

練習は 9 月 2 2 日 (木) 女子棒高跳終了後、2 時間メイン競技場で行うことができる。

(女子) 練習 2 m 0 0 2 m 5 0 3 m 0 0

競技開始の高さ 2 m 1 0 以降 1 0 cm 刻み

(12) リレー競技に出場する学校は、招集完了 1 時間前までに**招集所**にオーダー用紙を提出すること。ただし、4 × 1 0 0 mR 予選は当日の朝、女子 8 時 1 0 分・男子 8 時 2 5 分までに、4 × 4 0 0 mR 予選は前日の 1 6 : 0 0 までに**本部**に提出すること。なお、4 × 4 0 0 mR 予選当日において、オーダー変更がある場合は、招集完了 1 時間前までに**本部**に提出すること。

3. その他

(1) 種目別表彰はその都度行う。8 位までの入賞者は、当該競技終了後、直ちに表彰者控え席 (正面エントランスロビー出入口) に集合すること。

(2) 第 2 1 回北信越高等学校新人陸上競技大会の出場資格を得た者 (各種目 8 位までの入賞者のうち上位 5 名。ただし、辞退者が出た場合は繰り上げる) は、表彰終了後、必ず個票の確認を行うこと。

第 2 1 回北信越高等学校新人陸上競技大会

期日：1 0 月 2 1 日 (金) ・ 2 2 日 (土) ・ 2 3 日 (日)

場所：富山県総合運動公園富山県陸上競技場

(3) 大会中のけがは応急処置のみ行うが、その後については各自で対処すること。

(4) 各校補助員は、9 月 2 2 日 (木) ~ 2 4 日 (土) の 8 時 3 0 分に集合場所 (会議室 5 A) に集まり、補助員係主任の指示を受けること。

(5) 人の呼び出しや各校の個別の用件のための「放送施設」の使用は行わない。ただし、重要かつ緊急を要することについてはこの限りではない。

(6) 写真・カメラなどの撮影については、各学校でビブスを準備し着用すること。ただし、必ず撮影許可を受けること。

(7) メインスタンド・芝生席、およびフィールド種目進行に影響のある場所での集団応援は禁止とする

(8) 助力について・・・スタンドからの助言は、競技運営並びに他の競技者の妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴の為に勝手に当該競技エリアから離脱することや文章連絡は認められない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むこともできない。